

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題 (A)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「話すこと・聞くこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「書くこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □ 「読むこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>主として「活用」に関する問題 (B)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「話すこと・聞くこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □ 「書くこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、上回っている。 □ 「読むこと」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、上回っている。 	<p>問題 (A) に関わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 ● 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読む。 ● 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。 <p>問題 (B) に関わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話の構成を工夫して話すことができる。 ● 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。 ● 自分の考えを広げたり深めたりするため、発言の意図を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実生活において、依頼状や案内状、礼状など実用的な文章としての手紙を書く。その際、書く相手や目的を明確にしながらか、書く必要のある事柄を選んだり、構成したりする活動を大切にすする。 ○ 漢字を繰り返し書いて練習するだけではなく様々な場面で漢字のもつ意味を考えさせ、文や文章の中で正しく使えるようにしていく。 ○ 自分の立場を明確にすること、事実と感想、意見とを区別すること、結論付けを明確にすることなどについて意識付けを図る。 ○ 各自が考えたことについて共通点や相違点を明らかにしながら交流する機会を設定する。

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査結果【小学校算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「数と計算」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □ 「量と測定」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「図形」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「数量関係」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、上回っている。 	<p>問題(A)に関わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小数と整数の加法の計算をすることができる。 ● 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。 ● 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算処理だけではなく、数の仕組みを基に計算の仕方を理解できるようにする。 ○ 計算の順序についてのきまりを具体的な場面と結び付けて理解できるようにする。 ○ 図形の構成・分解などの活動を通して図形の性質を見いだすことにより、その性質の理解を深められるようにする。
<p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「数と計算」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「量と測定」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「図形」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □ 「数量関係」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 	<p>問題(B)に関わって</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。 ● 直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる。 ● 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる。 ● 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な情報の中から必要な情報を収集した上で、条件に合うものを選択するなどの活動を行う。 ○ 日常生活の事象を数理的に捉えることで、算数の有用性を実感できるようにする。 ○ 場面や状況に応じて数理的な処理の仕方を吟味するよう促す。 ○ 日常生活の事象を、表やグラフの特徴を基に考察したり、表現したりする学習を充実する。 ○ 適切な判断のために、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断の理由を数学的に表現できるようにする。